

令和3年度 学校評価アンケート結果報告

令和3年11月24日～12月8日に学校評価アンケートを実施しました。アンケートの結果及び考察について以下の通り集約しましたので、ご報告いたします。(回答率;保護者57%、教職員86%)

全体的に、保護者・教職員とも「A そう思う」と「B ややそう思う」の回答が大半を占めていました。肯定的な回答(A+B)が90%未満の項目については以下の通りです。

1 保護者による学校評価アンケート

項目	肯定的回答 (A+B)	否定的回答 (C+D)	わからない (E)
6 新しい生活様式に応じた交流活動(近隣校との交流や副学籍交流など)についてしかるべき情報が提供され、適切な対応が行われている。	76.4%	20.2%	3.4%
7 子どもたち一人ひとりが学級や校内、地域の中で役割を果たし、自己肯定感を高められる取組が、新型コロナウイルス感染症対策が講じられた範囲内で適切に行われている。	87.4%	10.1%	2.5%

2 教職員による学校評価アンケート

項目	肯定的回答 (A+B)	否定的回答 (C+D)	わからない (E)
18 関係機関との連携が必要な場合の手順がわかっている。	87.9%	12.1%	0%
21 特別支援教育の考え方や児童生徒に対する有効な支援方法について、全教職員で共有する機会が十分に設けられている。	88.7%	11.3%	0%

集計結果からの考察

○保護者アンケートより

「あまりそう思わない」と回答された割合が、項目6では20名(16.8%)、項目7では11名(9.2%)と他の項目に比べ多かったことが特徴的でした。

項目6については、

本校小学部児童と港南台第2小学校との作品作りを通しての交流や、本校中学部生徒と山手学院吹奏楽部による演奏会の交流など、交流活動の内容や様子について、ホームページや学校のお便りなどを活用し、情報提供の充実に努めてまいります。

項目7については、

今年度は高等部作業学習を中心に、農園芸班が実施した野菜の無人販売や地域社会活動の一環で行ったハマロードなど、できるところから地域との繋がりを目指した活動に取り組みました。一方で、全校的には、まだ取り組むことが難しいところもありました。今後も感染症の状況を確認しつつ、できるところから取り組んでまいります。

○教職員アンケートより

「あまりそう思わない」と回答された割合が、項目 18 では 15 名 (12.1%)、項目 21 では 14 名 (11.3%) と他の項目に比べ多かったことが特徴的でした。

項目 18 については、

「手順」という部分にわかりにくさがあったと考えています。校内では、特別支援教育コーディネーターが中心となりながら関係機関との連携を図っています。関係機関との連携を今後より円滑に実施していくためにも、「手順」について校内で再考していきたいと思います。

項目 21 については、

本校における ICT 教育の活動実践について共有を図るとともに、実態に適した指導内容や指導体制について検討していくこととし、月に一度、各クラス一枚は ICT 機器活用の実践例を集めることができました。年度末にまとめを予定していて、全教職員で共有し、来年度に繋げていきたいと考えています。

3 自由記述結果について

多くの保護者の皆様から自由記述にてご意見をいただきました。その中から共通する内容として、以下の点について回答させていただきます。

①ご家庭との情報共有について

今年度も感染症対応に伴う行事等の変更をおこないました。その際、保護者の皆様に対する変更の経緯についての説明が不十分であったと考えています。

学校が安心安全な学びの場となるためにはご家庭との連携が不可欠です。各ご家庭とより良い情報共有をするための方法について今後も継続して検討していきます。

②学校からの情報発信について

校内で取り組んでいる感染症対策や各学部の授業等について、今後は学校だより等を通じて各ご家庭に発信できるよう検討しています。

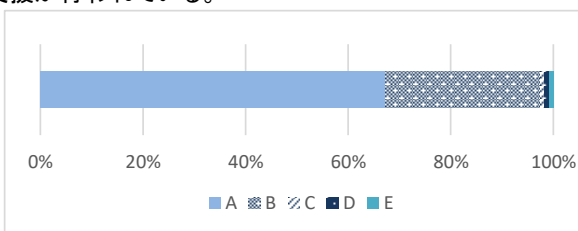
また、発信する媒体についても、従来の紙による配布だけでなく、メール配信への添付等についても現在検討中です。

各ご家庭がスムーズに学校からの情報を受け取ることができるよう、適切な方法について今後も継続して検討していきます。

A: と思う B: ややと思う C: あまりそう思わない D: そう思わない E: わからない

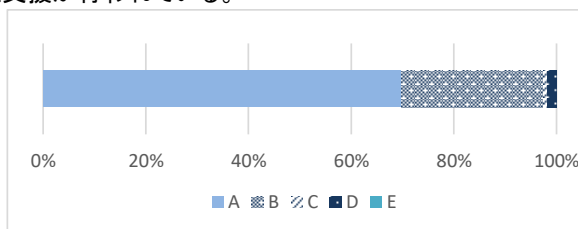
1 学級内で個別の指導計画の内容が共有され、共通の支援が行われている。

	保護者	割合
A: と思う	80	67.2%
B: ややと思う	36	30.3%
C: あまりそう思わない	1	0.8%
D: そう思わない	1	0.8%
E: わからない	1	0.8%



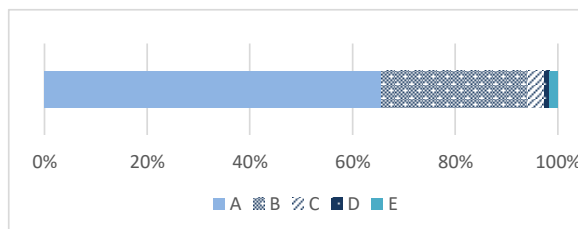
2 担任間で共通理解をもって一人ひとりの子どもに応じた支援が行われている。

	保護者	割合
A: と思う	83	69.7%
B: ややと思う	33	27.7%
C: あまりそう思わない	1	0.8%
D: そう思わない	2	1.7%
E: わからない	0	0.0%



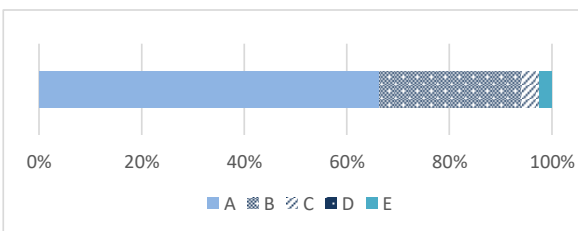
3 集団生活などを通して、主体的に周囲の他者とかがわろうとする態度を育てる指導が行われている。

	保護者	割合
A: と思う	78	65.5%
B: ややと思う	34	28.6%
C: あまりそう思わない	4	3.4%
D: そう思わない	1	0.8%
E: わからない	2	1.7%



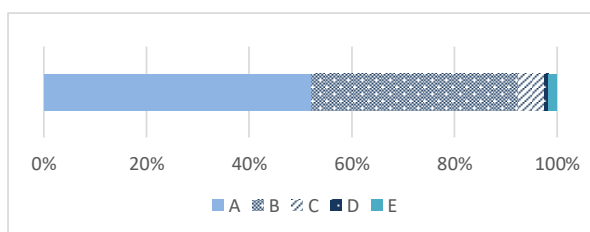
4 給食等を通して、食に関する興味・関心を高める指導が行われている。

	保護者	割合
A: と思う	79	66.4%
B: ややと思う	33	27.7%
C: あまりそう思わない	4	3.4%
D: そう思わない	0	0.0%
E: わからない	3	2.5%



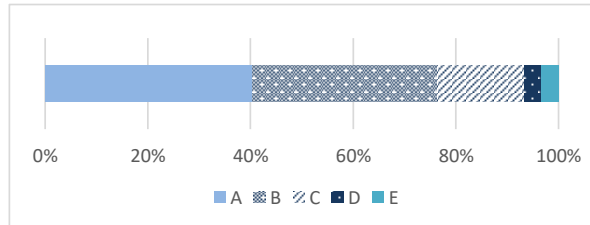
5 日常生活の指導や体育などを通して、基礎的な体力向上に向けた指導や個に応じた性教育の指導を行い、心身の発達に取り組まれている。

	保護者	割合
A: と思う	62	52.1%
B: ややと思う	48	40.3%
C: あまりそう思わない	6	5.0%
D: そう思わない	1	0.8%
E: わからない	2	1.7%



6 新しい生活様式に応じた交流活動(近隣校との交流や副学籍交流など)についてしかるべき情報が提供され、適切な対応が行われている。

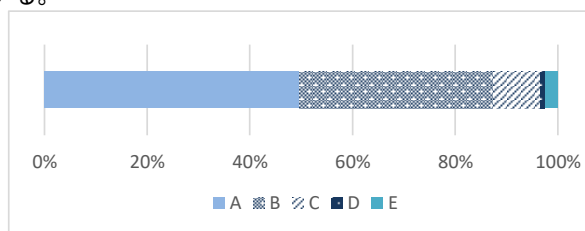
	保護者	割合
A: と思う	48	40.3%
B: ややと思う	43	36.1%
C: あまりそう思わない	20	16.8%
D: そう思わない	4	3.4%
E: わからない	4	3.4%



A: そう思う B: ややそう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない E: わからない

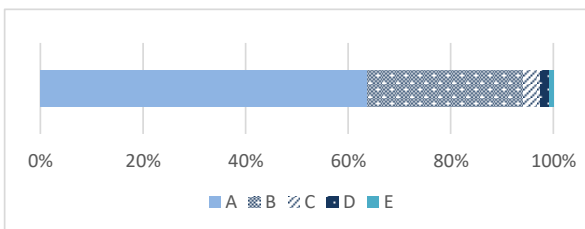
7 子どもたち一人ひとりが学級や校内、地域の中で役割を果たし、自己肯定感を高められる取組が、新型コロナウイルス感染症対策が講じられた範囲内で適切に行われている。

	保護者	割合
A: そう思う	59	49.6%
B: ややそう思う	45	37.8%
C: あまりそう思わない	11	9.2%
D: そう思わない	1	0.8%
E: わからない	3	2.5%



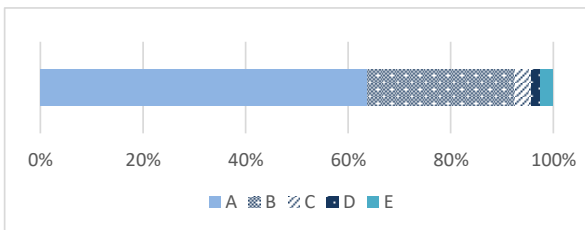
8 子どもたちの健康面や生活面の課題について、担任・養護教諭・栄養教諭が協力して取り組んでいる。

	保護者	割合
A: そう思う	76	63.9%
B: ややそう思う	36	30.3%
C: あまりそう思わない	4	3.4%
D: そう思わない	2	1.7%
E: わからない	1	0.8%



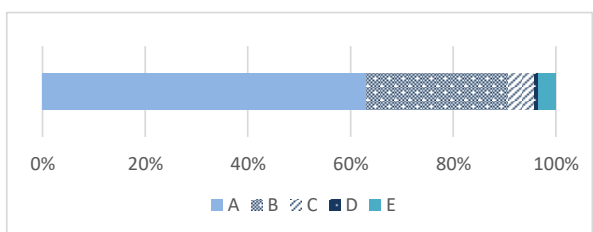
9 健康管理について、保護者や関係機関と情報を共有し、一人ひとりの実態に応じた対応が行われている。

	保護者	割合
A: そう思う	76	63.9%
B: ややそう思う	34	28.6%
C: あまりそう思わない	4	3.4%
D: そう思わない	2	1.7%
E: わからない	3	2.5%



10 日々の子どもの様子について、学級担任内で情報が共有されている。

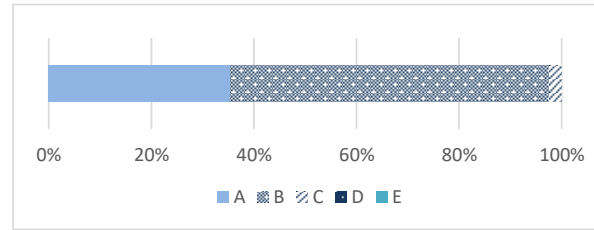
	保護者	割合
A: そう思う	75	63.0%
B: ややそう思う	33	27.7%
C: あまりそう思わない	6	5.0%
D: そう思わない	1	0.8%
E: わからない	4	3.4%



A: と思う B: ややと思う C: あまりそう思わない D: そう思わない E: わからない

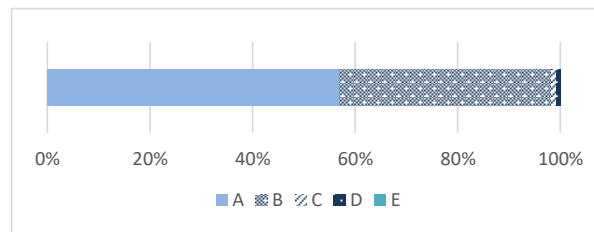
1 年間指導計画や年間指導一覧の運用、日々の授業計画の改善を行い、系統的指導を目指して取り組んでいる

	教職員	割合
A: と思う	44	35.5%
B: ややと思う	77	62.1%
C: あまりそう思わない	3	2.4%
D: そう思わない	0	0.0%
E: わからない	0	0.0%



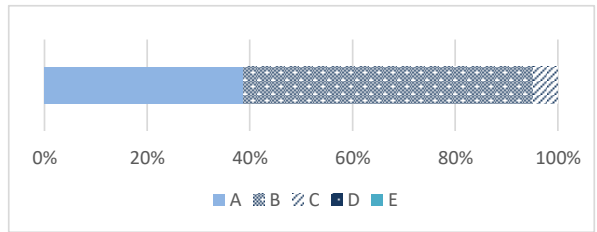
2 担任間で共通理解をもって一人ひとりの子どもに応じた支援が行われている。

	教職員	割合
A: と思う	69	57.0%
B: ややと思う	50	41.3%
C: あまりそう思わない	1	0.8%
D: そう思わない	1	0.8%
E: わからない	0	0.0%



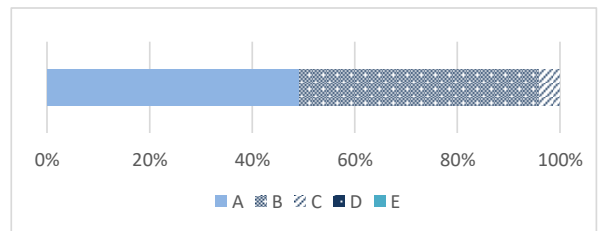
3 子どもたちがいろいろな人とかわかり、人や場所に慣れ親しめるように、それぞれの実態に応じて新しい生活様式に準拠した活動内容や環境が設定されている。

	教職員	割合
A: と思う	48	38.7%
B: ややと思う	70	56.5%
C: あまりそう思わない	6	4.8%
D: そう思わない	0	0.0%
E: わからない	0	0.0%



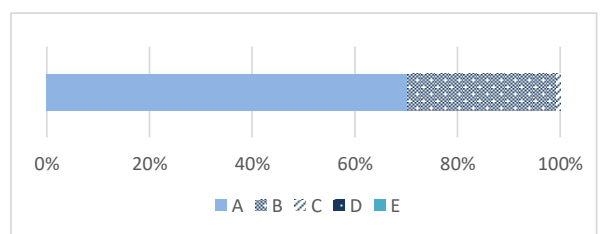
4 集団生活などを通して、主体的に周囲の他者とかわかろうとする態度を育てる指導が行われている。

	教職員	割合
A: と思う	61	49.2%
B: ややと思う	58	46.8%
C: あまりそう思わない	5	4.0%
D: そう思わない	0	0.0%
E: わからない	0	0.0%



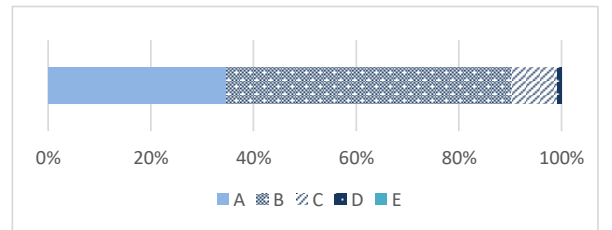
5 新型コロナウイルス禍において、教育委員会からの通達を受け、養護教諭と栄養教諭で感染予防の骨子を検討し、給食支援部を通じて全校で予防策を実践している。

	教職員	割合
A: と思う	87	70.2%
B: ややと思う	36	29.0%
C: あまりそう思わない	1	0.8%
D: そう思わない	0	0.0%
E: わからない	0	0.0%



6 日常生活の指導や体育などを通して、基礎的な体力向上に向けた指導や個に応じた性教育の指導を行い、心身の発達に取り組んでいる。

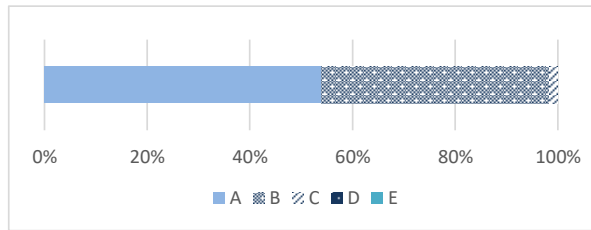
	教職員	割合
A: と思う	43	34.7%
B: ややと思う	69	55.6%
C: あまりそう思わない	11	8.9%
D: そう思わない	1	0.8%
E: わからない	0	0.0%



A: と思う B: ややと思う C: あまりそう思わない D: そう思わない E: わからない

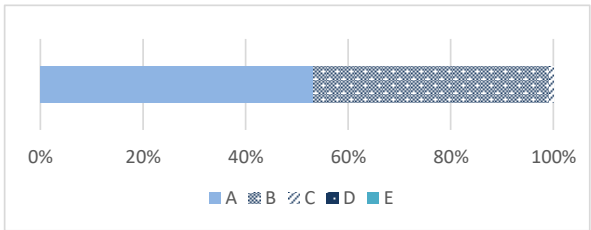
7 本校のセンター的機能は、地域の小中学校の特別な支援が必要な子どもに対しての具体的支援や関係機関との連携について、適切な運用が行われている。

	教職員	割合
A: と思う	67	54.0%
B: ややと思う	55	44.4%
C: あまりそう思わない	2	1.6%
D: そう思わない	0	0.0%
E: わからない	0	0.0%



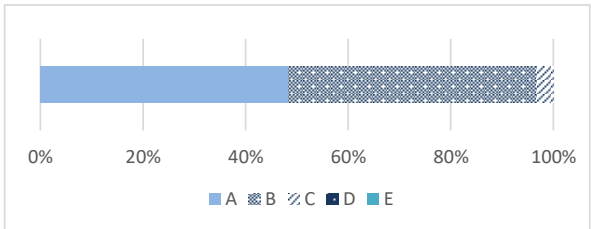
8 本校のセンター的機能は、地域における障害者理解啓発、人権教育の推進に対して、適切な運用が行われている。

	教職員	割合
A: と思う	66	53.2%
B: ややと思う	57	46.0%
C: あまりそう思わない	1	0.8%
D: そう思わない	0	0.0%
E: わからない	0	0.0%



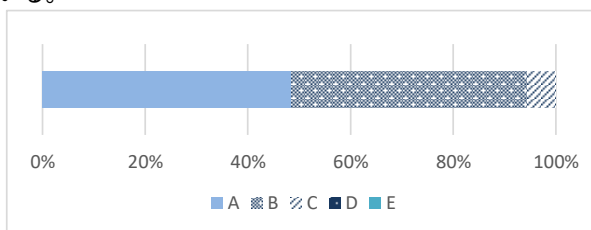
9 新しい生活様式に応じた交流方法について模索、実施、検討し、教職員及び保護者とその内容を共有できるよう取り組んでいる。

	教職員	割合
A: と思う	60	48.4%
B: ややと思う	60	48.4%
C: あまりそう思わない	4	3.2%
D: そう思わない	0	0.0%
E: わからない	0	0.0%



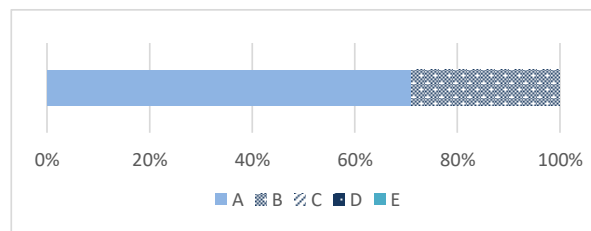
10 子どもたち一人ひとりが学級や校内、地域の中で役割を果たし、自己肯定感を高められる取組が、新型コロナウイルス感染対策症が講じられた範囲内で適切に行われている。

	教職員	割合
A: と思う	61	48.4%
B: ややと思う	58	46.0%
C: あまりそう思わない	7	5.6%
D: そう思わない	0	0.0%
E: わからない	0	0.0%



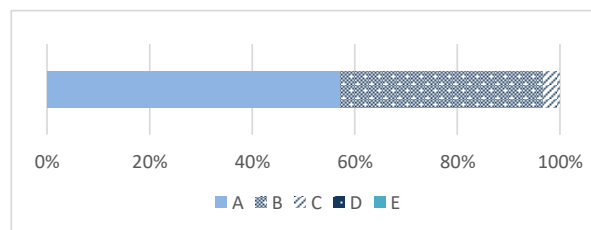
11 子どもたちの健康面や生活面の課題について、担任・養護教諭・栄養教諭が協力して取り組んでいる。

	教職員	割合
A: と思う	88	71.0%
B: ややと思う	36	29.0%
C: あまりそう思わない	0	0.0%
D: そう思わない	0	0.0%
E: わからない	0	0.0%



12 健康管理について、保護者や関係機関と情報を共有し、一人ひとりの実態に応じた対応が行われている。

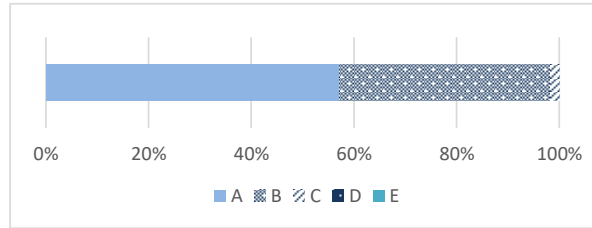
	教職員	割合
A: と思う	71	57.3%
B: ややと思う	49	39.5%
C: あまりそう思わない	4	3.2%
D: そう思わない	0	0.0%
E: わからない	0	0.0%



A: そう思う B: ややそう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない E: わからない

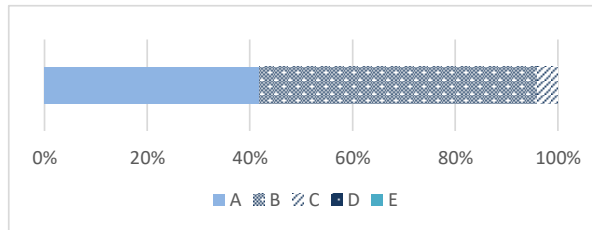
13 新型コロナウイルス感染症対策について、各B部会でガイドラインに則った対応を検討し、学部や学年の中で情報を共有するなど校内のカリキュラム・マネジメントに取り組んでいる。

	教職員	割合
A: そう思う	71	57.3%
B: ややそう思う	51	41.1%
C: あまりそう思わない	2	1.6%
D: そう思わない	0	0.0%
E: わからない	0	0.0%



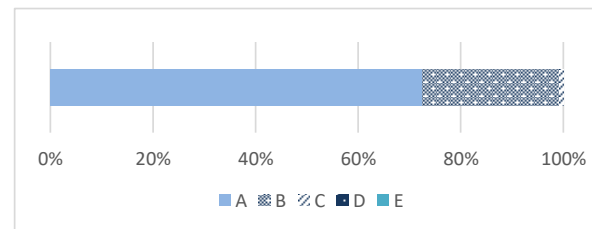
14 学校評価や社会的情勢を基に、各分掌との連携を深め、情報の適切な発信、及び、教育活動の改善が行われている。

	教職員	割合
A: そう思う	52	41.9%
B: ややそう思う	67	54.0%
C: あまりそう思わない	5	4.0%
D: そう思わない	0	0.0%
E: わからない	0	0.0%



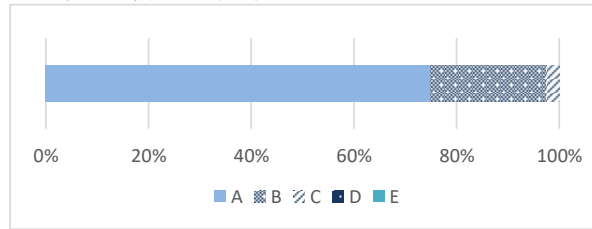
15 日々の子どもの様子について、学級担任内で情報が共有されている。

	教職員	割合
A: そう思う	90	72.6%
B: ややそう思う	33	26.6%
C: あまりそう思わない	1	0.8%
D: そう思わない	0	0.0%
E: わからない	0	0.0%



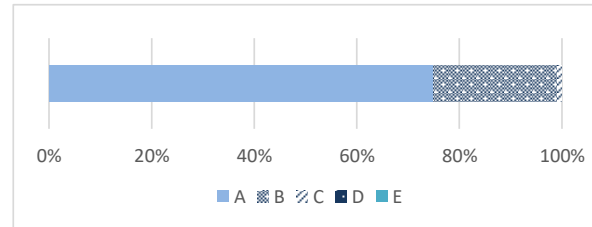
16 子どもの様子について、必要に応じて学年内、学部内で共有する機会がある。

	教職員	割合
A: そう思う	93	75.0%
B: ややそう思う	28	22.6%
C: あまりそう思わない	3	2.4%
D: そう思わない	0	0.0%
E: わからない	0	0.0%



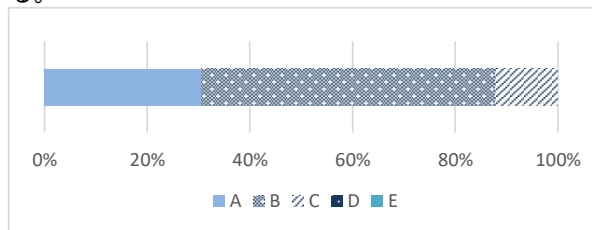
17 保護者から得た情報が学級担任間で共有されている。

	教職員	割合
A: そう思う	93	75.0%
B: ややそう思う	30	24.2%
C: あまりそう思わない	1	0.8%
D: そう思わない	0	0.0%
E: わからない	0	0.0%



18 関係機関との連携が必要な場合の手順がわかっている。

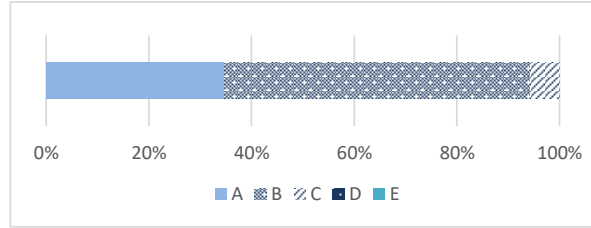
	教職員	割合
A: そう思う	38	30.6%
B: ややそう思う	71	57.3%
C: あまりそう思わない	15	12.1%
D: そう思わない	0	0.0%
E: わからない	0	0.0%



A: そう思う B: ややそう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない E: わからない

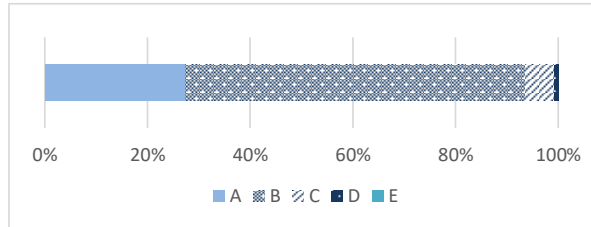
19 校内研究では、本校におけるICT教育の実践及び支援方法について共有を図り、教職員の実践力を高めていくことに繋がっている。

	教職員	割合
A: そう思う	43	34.7%
B: ややそう思う	74	59.7%
C: あまりそう思わない	7	5.6%
D: そう思わない	0	0.0%
E: わからない	0	0.0%



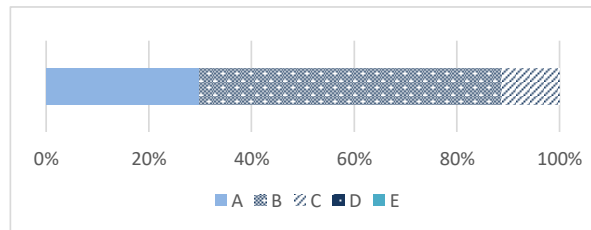
20 校内研究は、教職員自身のキャリア発達を促す取組をさらに充実させることに繋がっている。

	教職員	割合
A: そう思う	34	27.4%
B: ややそう思う	82	66.1%
C: あまりそう思わない	7	5.6%
D: そう思わない	1	0.8%
E: わからない	0	0.0%



21 特別支援教育の考え方や児童生徒に対する有効な支援方法について、全教職員で共有する機会が十分に設けられている。

	教職員	割合
A: そう思う	37	29.8%
B: ややそう思う	73	58.9%
C: あまりそう思わない	14	11.3%
D: そう思わない	0	0.0%
E: わからない	0	0.0%



22 各分掌からの聞き取りなどを基に、効率的な組織運営についての見直しに取り組んでいる。

	教職員	割合
A: そう思う	40	32.3%
B: ややそう思う	77	62.1%
C: あまりそう思わない	7	5.6%
D: そう思わない	0	0.0%
E: わからない	0	0.0%

